

留萌市立病院改革プランについて

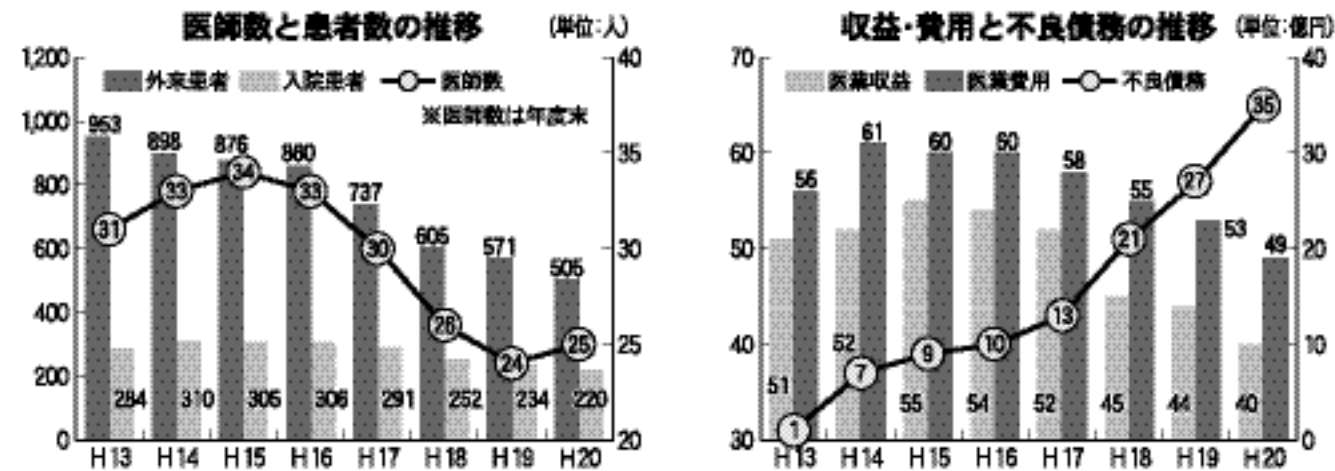
病院改革プラン策定の経過について

市立病院は、留萌市民の健康を守ることはもちろんですが、留萌管内の地域センター病院として重要な役割を果たしてきました。しかし、平成16年度から実施された医師の新臨床研修制度による医師不足などにより、急激に経営が悪化したため、経営の立て直しに向けた病院改革プランを策定することとしました。

市立病院の経営が悪化した原因について

1	医師の不足等	新臨床研修制度の実施等によりH15に34人いた固定医師は、H19には24人まで減少し、それに伴い患者数も減少しています
2	診療報酬の減額改定	2年に一度改定される診療報酬（医療の単価）が国の医療費抑制政策により、H14から4回連続で減少しています
3	地域センター病院としての責任	留萌管内のセンター病院として、不採算部門である救急・小児・産婦人科医療を担っています

平成20年度末の病院の赤字は35億円にも膨らむ見込みです



市立病院は経営を立て直し、地域住民の「^{いのち}生命と健康」を守ります

病院改革プランの概要

1	公立病院として	<ul style="list-style-type: none"> 地域に必要な医療の確保と専門性の高い医療を担います 24時間体制の救急医療を守っていきます 安心して子どもを産み育てる体制を守っていきます
2	特色ある病院として	<ul style="list-style-type: none"> 消化器病センターを確立し、安心快適な診療・治療を提供します 人工透析治療提供体制を安定維持していきます 診療所（在宅療養支援診療所）を予防医療や生涯を通じた健康管理の拠点施設とします
3	公立病院の附帯機能として	<ul style="list-style-type: none"> 消防との連携をより強化し、災害時における適時適切な医療提携体制を確保します 健診、検診の積極的な実施により、病気の早期発見から治療まで一貫した健康管理を行います



今月号では、「留萌市立病院改革プラン」検討案と10月号で概要を説明しました「留萌市財政健全化計画」検討案の市民サービス見直しの具体的項目についてご説明します。

留萌市が連結決算での財政再生団体転落を回避するにあたって、現在抱えている最重要課題は、医師不足や診療報酬の減額改定などの影響により、20年度末で約35億にまで膨らむ見込みである市立病院の赤字を解消することです。

地域医療を守りながら財政再生団体を回避

市立病院は留萌管内の地域センター病院として、不採算部門である救急・小児・産婦人科医療を担っています。

しかし、財政再生団体になると国の管理となることから、救急・小児・産婦人科などの地域医療の確保についての保障はなく、地域医療の格差拡大につながりかねません。

そうならないために、市は、市民の生命と健康を守るためにも、市立病院の平成20年度末までの赤字額約35億円を支援し、地域医療を守りながら、財政再生団体を回避

市は市民の協力を得ながら地域医療を守ります

厳しい財政状況の中でも、以下の重点項目に沿った行政サービスを展開します

- 1 救急・小児・産婦人科などの地域医療を確保します
- 2 子どもや高齢者が安心して暮らせるように配慮します
- 3 経済の活性化、社会基盤の維持に努めます

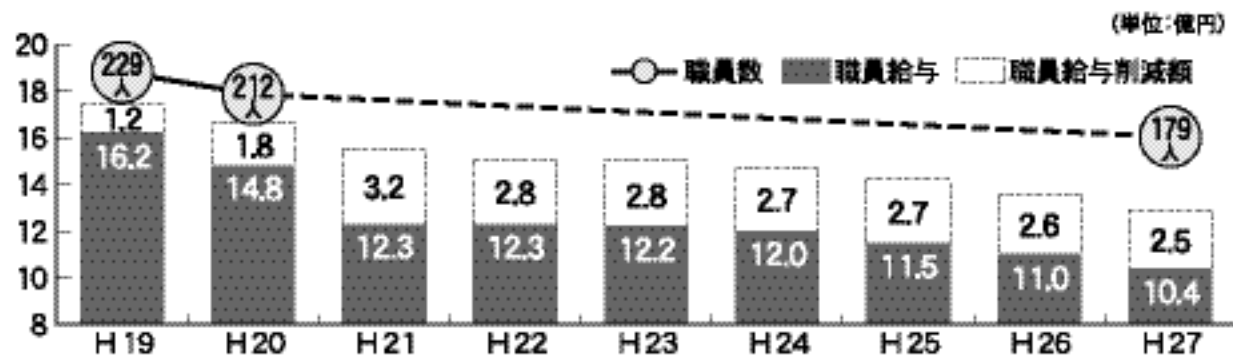
避するため、「留萌市立病院改革プラン」に併せて「留萌市財政健全化計画」を策定します。

これらの計画は、病院の収支均衡（黒字化）と地域医療の確保（病院への支援）に全力を注ぎ、財政再生団体への転落を回避するもので、この厳しい期間を留萌市全体で乗り越えた先には、市民が健康で安心して暮らすことができ、将来子どもたちがふるさととして誇れる、健全なまちを取り戻していくというものです。

「財政健全化計画」検討案について

市は、地域医療を守り、財政再生団体への転落を回避するために、平成21年度から平成27年度までの7年間で、平成20年度までの市立病院の赤字額35億円を全額支援します。(毎年5億円)

職員給与の更なる大幅削減を実施し、7年間で19億円の財源を確保します



一般会計のみの削減額であり、特別会計、企業会計、消防組合分の削減額は含まれていません。

市民サービスの見直し基準

- 1 法令や義務的な事務など行政として基本的なサービスは継続します
- 2 重点項目以外の義務付けのないサービスは休止・廃止を含め見直します
- 3 地域集会施設や小規模公園は市民による自主運営をお願いし、困難な場合は休止します
- 4 公共施設は使用可能な施設を限定して、必要最小限とします
- 5 継続する社会教育施設などは、費用対効果をより一層高めます
- 6 全ての補助金をガイドラインに沿って見直します
- 7 投資事業は施設の延命、重点項目に沿った必要最小限の整備とします
- 8 市民負担に一定の配慮をしつつ税率などの見直しを実施します
- 9 悪質な滞納者に対するサービス制限や収納対策全般の見直し、ふるさと納税など収入確保を図ります

1 住民の皆さんへのお願い

事業名	内容	効果額(千円)
コミュニティセンター(4館)	全額利用者負担での運営をお願いします。できない場合は休止・廃止を含め検討します	6,000
東部地区公民館	公民館機能は廃止し、全額利用者負担での運営をお願いします	2,934
幌糠公民館・幌糠市民センター	公民館機能は廃止し、全額利用者負担での運営をお願いします。幌糠市民センター機能のゼロ予算化を検討します	2,116
公園管理事業	市が管理する公園を限定し、地域の公園は住民の皆さんでの管理をお願いします 市役所が管理を継続する公園 有料公園(浜中運動公園・神居岩総合公園)、近隣公園(高砂公園・潮静公園) 公衆トイレ(錦町・ひまわり・幌糠駐車帯、南9条緑地)管理を休止するトイレ 街区公園トイレ11箇所のうち錦町・ひまわり以外9箇所住民の皆さんに管理をお願いする公園 上記以外の広路・見晴公園、街区公園等、できない場合は休止も検討します	7,231

休止/今後の財政状況次第で再開の見込みがあるもの。 廃止/今後の財政状況に関わらずH20年をもって廃止するもの。

平成21年度以降単年度収支の均衡(黒字化)を図ります

1 固定医師の確保に全力を尽くします

・今年度新たに内科医1名が着任しており、来年度は皮膚科医1名、脳神経外科医1名の常勤化が見込まれておりますが、安心な医療の提供に向けて、さらなる固定医師の確保に取り組みます

年間効果額 1.4億円

2 診療体制・病床利用の効率化を図ります

・出張医体制の形成外科は、固定医師が確保できるまで休止します
・350床のベッド数を248床に縮小し、残り102床は療養病床への転換を検討します

年間効果額 0.5億円

3 収益の改善に取り組みます

・内視鏡治療実績が全道トップレベルの消化器病センターの利用者拡大を図ります
・通院の利便性向上に向けて、医療バスのテスト運行を行います
・一部業務の民間委託や光熱費などの見直しにより、より一層のコスト削減に取り組みます

年間効果額 1.2億円

4 職員給与を見直します

・厳しい経営状況を脱却するまで、職員給与のさらなる削減を図ります

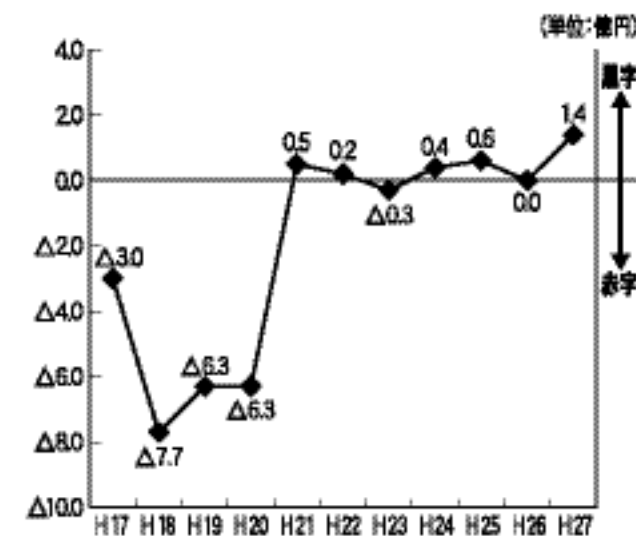
年間効果額 3.8億円

5 一般会計からの支援額を新たなルールに基づき増額します

・救急・小児・産婦人科の収支不足分について全額一般会計からの支援を受けます(H20より実施)
・病院建設にかかる借入金の利息について全額一般会計からの支援を受けます

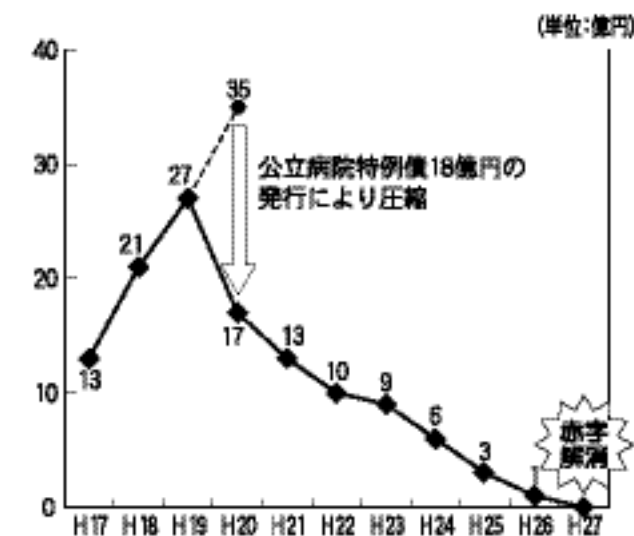
年間支援額 2.3億円

単年度収支を均衡させます



・単年度収支は近年急激に悪化しています。
・市立病院は改革プランを着実に実施し、単年度収支均衡を図り、新たな赤字が発生しないよう努めます。

不良債務を解消します



・市立病院は改革プランの着実な実施と、一般会計からの支援により、平成27年度末までに不良債務を全て解消します。

5 市税の税率引き上げ

固定資産税	標準税率の1.4%を1.5%に引き上げます (都市計画税と合わせ1.8%になります)	効果額(千円) 63,000
軽自動車税	標準税率を1.5倍(制限税率)に引き上げます (例) 4輪乗用7,200円 10,800円	12,757

6 補助金の見直し

補助金の見直し	バス路線、呑涛まつり等イベント補助、団体補助をガイドラインに沿って全て見直します	15,853
---------	--	--------

「留萌市財政健全化計画」及び「留萌市立病院改革プラン」 検討案に対するご意見をお待ちしています

「広報るもい」10月号・11月号でご説明しました、「留萌市財政健全化計画」及び「留萌市立病院改革プラン」検討案に対するご意見を募集いたします。なお、検討案に関する全市民を対象とした「市政懇談会」を11月5日(水)～11月11日(火)まで開催をいたしますので、多くの皆さまのご参加をお願いします。

パブリックコメント手続きとは

市が基本的な計画などを策定する際に事前に案を公表し、それに対する市民の皆さんのご意見を考慮して、意思決定を行う手続きのことです。

募集期間

10月27日(月)～11月17日(月)[必着]

提出方法・提出先

【郵送の場合】
〒077-8601 留萌市幸町1丁目
留萌市政策経営室財務課
【ファクシミリの場合】0164-43-8778
【電子メールの場合】zaimu@e-rumoi.jp
市役所財務課窓口(2階)へ直接お持ちいただいても結構です。ただし、電話によるご意見はご遠慮願います。

提出していただく際のご注意

個人でご提出いただく場合は、氏名・住所・電話番号(メールアドレス)・年齢・性別を、団体等でご提出いただく場合は、このほかに名称・所在地・代表者名を必ず明記して下さい。これらが明記されていないものについては、受付できませんのでご注意下さい。提出様式は任意のもので構いませんが、ご意見については、各項目ごとに整理して下さい。

ご意見の取扱いについて

提出いただきましたご意見を参考に「計画及びプラン」を策定します。「計画及びプラン」を策定したときには、皆さんからいただきましたご意見の概要とそれに対する留萌市の考え方などを、広報誌やホームページなどで公表いたします。なお、ご意見のうち、単なる賛否のみの表明や公表した検討案に関連のないものについては、留萌市の考え方を公表しない場合があります。

留萌市財政健全化計画に関すること

留萌市政策経営室財務課(行財政改革推進本部事務局) ☎42-1813(直通)

留萌市立病院改革プランに関すること

留萌市立病院総務課経営改革室 ☎49-1011(内線1007)

2 除排雪体制の見直し

除排雪体制の見直し	北5条通り、留萌通りのロードヒーティングを全面停止します。効率的な除排雪体制により、除排雪車両を1台減とし経費を圧縮します。3ヵ年実績ベースでの積算のため、近年の小雪による減額分を含めます	効果額(千円) 46,715
-----------	--	-------------------

3 各施設の見直し

温水プール「ぶるも」	休止します / 再開発ビルの管理方法を検討します	38,840
海のふるさと館	廃止します / 研究紀要等作成や自然観察会も廃止します	5,391
中央公民館・体育施設	指定管理を統合し効率化を進め、文化センターは冬季休館し、燃料費を節減します	11,052
港湾施設	塩見緑地のトイレ開設期間を5ヶ月から3ヶ月に縮小、芝生管理についても2回から1回にします	929
礼受牧場畜産館	自主管理での運営をお願いします	551
農村交流センターこさえーる	指定管理委託料を削減します	547
憩いの森・望洋の森	望洋の森は休止します / 憩いの森は最小限の維持管理を継続します	327

4 その他の項目

小・中学校スキー授業	継続・廃止共に税負担なし(小学校 5,100、中学校 2,600)とします 冬季体育授業を再検討します	7,700
綿製品リサイクル	施設での回収を見直しゴミステーションで回収とします	2,176
民生委員事業	道の基準額に加算している独自上乗せ分を縮小します(報酬全体の協議と合わせて検討します)	2,040
教育総合センター	休止します	1,126
青少年教室	休止します	593
生涯学習推進	休止します	270
P T A 研究大会	市負担分を休止します	30
高齢者入浴助成	廃止します	-
高齢者除雪サービス緊急通報システム	受益者負担の導入を検討します	-
ごみ袋保管配送	保管配送委託を廃止し直営で実施します	3,292
住宅使用料収納対策	委託を廃止します(収納対策の全庁的な体制確立と合わせて検討します)	1,800
市営墓地管理	墓地の周辺警備を8月13日のみ委託とし、14日は直営で実施します	32
児童館	民間委託を含めた運営手法、学校の適正配置議論にあわせた施設配置を検討します	-
図書館	機能の維持は必要ですが、運営手法を検討します	-
小・中学校配置	学校の適正配置について検討します	-
報酬	各種報酬を全庁的に見直します	-
その他	庁舎内清掃の職員実施や、紙ベースの例規類集の廃止など	4,286

休止 / 今後の財政状況次第で再開の見込みがあるもの。 廃止 / 今後の財政状況に関わらずH20年をもって廃止するもの。